



## 急速に進むタイの銀行改革

北陸銀行 国際部  
バンコク駐在員事務所  
吉田 雄司

### 1. はじめに

日本では、AIやフィンテックの台頭を理由としたメガバンクの支店網の再編や銀行員の人員削減が話題となっていますが、その最中、タイでは、最大手銀行の1つサイアムコマーシャルバンクが2020年までに従業員を約45%減らすと発表し、現地のメディアで大きく取り上げられました。

タイでも急速に進んでいるこの銀行改革についてご紹介します。

### 2. 従業員大幅削減の背景

サイアムコマーシャルバンクは、今年1月、2020年までの3年間で従業員を現在の27,000人から15,000人に削減すると発表しました。同銀行では従来、年間3,000人の従業員が離職しているとのことで、従業員の解雇はせず、自然減の中で調整するようです。またこれに合わせて、従来型の支店を1,153店舗から400店舗に削減し、600店舗以上をデジタル時代に適した形態に変革すると表明しました。

この背景には、タイで急速に進むキャッシュレス化があります。タイ政府は、キャッシュレス社会の構築を強力に推進しており、パソコンやスマートフォンで振込や支払が完結できるようになっています。これにより、従来の支店窓口の必要性が薄れてきているのです。

### 3. 増加する銀行の無人化店舗

前述したサイアムコマーシャルバンクの「デジタル時代に適した形態」の支店の一つに、無人化店舗が挙げられます。同銀行は昨年8月、完全自動化の支店を4店舗オープンしました。そこでは、預金、引き出し、送金、ビルペイメント、小切手の入金、口座開設、ローンの申し込みなどのサービスが利用可能で、顧客ニーズの85%に対応できると発表しています。

現在、完全自動化の支店には2~3名の係員を設置していますが、顧客の機械操作の習得状況を見ながら人員を削減していく予定とのことです。完全自動化の支店は、2018年中に200~300店舗までの増加が計画されています。

## 4. 減少する銀行の支店数

タイの銀行の支店数は、2015年を境に減少に転じ、2017年に至っては、前年比で232店舗もの支店が減少しました。今後、先述したサイアムコマーシャルバンクだけでなく、他の大手銀行も支店数を削減していくことが予想され、支店数の減少は更に加速するものと考えられます。

### 《タイの銀行支店数の増減》

銀行名	2014年12月	2015年12月	2016年12月	2017年12月	増減(前年比)
バンコク銀行	1,115	1,138	1,157	1,166	9
クルンタイ銀行	1,196	1,214	1,213	1,121	-92
カシコン銀行	1,126	1,121	1,110	1,029	-81
サイアム商業銀行	1,197	1,209	1,170	1,161	-9
アユタヤ銀行	616	636	658	663	5
TMB 銀行	460	454	453	432	-21
UOB 銀行	154	155	153	153	0
スタンダード・チャータード銀行	26	20	18	1	-17
CIMB THAI 銀行	146	123	92	86	-6
タナチャート銀行	617	615	593	524	-69
TISCO 銀行	56	57	57	60	3
キアットナーキン銀行	86	65	67	67	0
ICBC (THAI) 銀行	20	20	20	22	2
ランド・アンド・ハウス銀行	117	126	133	133	0
Thai Credit Retail 銀行	46	74	88	132	44
その他	27	32	34	34	0
計	7,005	7,059	7,016	6,784	-232

【タイ中央銀行資料より、北陸銀行バンコク駐在員事務所が作成】

## 5. 普及するフィンテックの技術、進むキャッシュレス化

タイの銀行改革の背景には、フィンテックの技術の急速な普及があります。その代表的なものとして、「プロンプトペイ」と「QRコード」を紹介します。

### (1) プロンプトペイ

利用者は、スマートフォンで専用のアプリをダウンロードの上、国民ID番号(日本でいうマイナンバー)と自分の銀行口座を登録します。送金時は、アプリを起動し、相手の国民ID番号と送金金額を入力するだけで送金が完了します。送金手数料は、送金金額が5,000バーツ(約17,000円)以下は無料です。更に、送金金額が30,000バーツ(約100,000円)までは手数料が2バーツ(約7円)と相当安価なサービスとなっています。

法人の場合も、法人登記番号を使ってプロンプトペイを利用することが可能で、こちらも従来の送金手数料より安価に抑えられています。

## (2) QRコード

現在、急速に拡大しているのが、スマートフォンのQRコードを用いた決済です。買い物をする際、消費者が支払時に会計で表示されるQRコードにスマートフォンをかざすと銀行口座から代金が引き落としされる仕組みです。

タイ大手銀行の一つのカシコン銀行が、QRコードを用いた決済に力を入れており、同銀行は、2018年中にQRコードアプリの導入店舗を100万店舗を増やす計画を立てています。

また、街中の屋台でもQRコードでの支払いに対応した屋台が登場しています。

## 6. おわりに

フィンテックの台頭で、消費者は支払いや決済が格段に便利になりました。そして、それはタイのみならず、日本を含む世界中の銀行に大きな影響を与えています。この流れは、今後も加速すると考えられ、変化のスピードに対応していくことが求められています。

バンコク駐在員事務所でも、引き続き情報を収集していきます。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

**ほくりく長城会**

**海外ビジネス情報**

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp